

福岡大学における第一例目の生体肺移植

4歳幼児に対する生体一肺葉移植

白石 武史 ¹⁾	平塚 昌文 ¹⁾	宗像 光輝 ¹⁾
樋口 隆男 ¹⁾	柳澤 純 ¹⁾	巻幡 聰 ¹⁾
吉永 康熙 ¹⁾	山本 聡 ¹⁾	岩崎 昭憲 ¹⁾
岡 陽一郎 ¹⁾	浅部 浩史 ¹⁾	山内 靖 ²⁾
三上 公治 ²⁾	乗富 智明 ²⁾	山下 裕一 ²⁾
川原 克信 ³⁾	岡林 寛 ⁴⁾	吉野 一郎 ⁵⁾
住江 愛子 ⁶⁾	久良木隆繁 ⁷⁾	渡辺憲太郎 ⁷⁾
吉兼由佳子 ⁸⁾	友納 優子 ⁸⁾	廣瀬 伸一 ⁸⁾
佐光 英人 ⁹⁾	西川 宏明 ⁹⁾	朔 啓二郎 ⁹⁾
高松 泰 ¹⁰⁾	田村 和夫 ¹⁰⁾	安元 正信 ¹¹⁾
濱田 孝光 ¹¹⁾	岩切 重憲 ¹¹⁾	比嘉 和夫 ¹¹⁾
尾籠 晃司 ¹²⁾	藤内 栄太 ¹²⁾	西村 良二 ¹²⁾
坂本 真美 ¹³⁾	寺田 久子 ¹³⁾	森重 徳継 ¹⁴⁾
岩橋 英彦 ¹⁴⁾	田代 忠 ¹⁴⁾	安永 弘 ¹⁵⁾
久保田正樹 ¹⁶⁾	岩崎 敬雄 ¹⁶⁾	鍋島 一樹 ¹⁷⁾
高石真奈美 ¹⁸⁾	白日 高歩 ¹⁾	

- 1) 福岡大学医学部外科学教室 呼吸器・乳腺内分泌・小児外科部門 肺移植チーム
- 2) 福岡大学医学部外科学教室 消化器外科部門肝移植チーム
- 3) 大分大学医学部第二外科
- 4) 国立病院機構福岡東医療センター
- 5) 九州大学医学部消化器外科
- 6) 九州大学医学部小児科
- 7) 福岡大学病院呼吸器科
- 8) 福岡大学病院小児科
- 9) 福岡大学病院循環器科
- 10) 福岡大学病院血液糖尿病科
- 11) 福岡大学病院麻酔科・SICU
- 12) 福岡大学病院精神神経科
- 13) 福岡大学病院手術室看護部
- 14) 福岡大学医学部心臓血管外科
- 15) 雪の聖母会聖マリア病院心臓血管外科
- 16) 福岡大学医学部リハビリテーション部
- 17) 福岡大学病院病理部
- 18) 福岡大学病院看護部臓器移植コーディネーター

要旨：4歳11カ月の男児に母親をドナーとする生体左下葉移植を実施した。患者は1歳3カ月時に若年性骨髄単球性白血病の診断を受け、1歳11カ月時に HLA 2 座不一致の母親より同種末梢血幹細胞移植を実施された。同種末梢血幹細胞移植後100日目に移植片対宿主病による閉塞性細気管支炎を発症し、4歳10カ月時に CO₂ ナルコーシスに陥り人工呼吸管理となった。4歳11カ月時、人工呼吸管理となつてから3週目に母親をドナーとする生体左下葉移植を実施した。レシピエントは体重 13kg、身長 98cm、ドナーは体重 58kg、身長 159cm であり左下葉肺グラフトとレシピエント胸郭に著しいサイズミスマッチが想定された。手術は Clam-shell incision で体外循環下に実施された。術後10日間に人工呼吸器より離脱し、順調な回復をみせ53日目に独歩退院した。3D-CT volumetry では肺グラフトは術前の47%程度に圧迫を受けながらも順調に機能している。免疫抑制はプログラフ中等量 (Trough 値: 5ng/ml) + プレドニゾロン 0.4mg/kg で管理している。本例は報告されている幼児への生体一葉肺移植の最低年齢に相当し、肺グラフトのサイズマッチング許容レベルに関する貴重な情報を提供するものとする。

キーワード：肺移植，生体肺移植，造血幹細胞移植，閉塞性細気管支炎，移植片対宿主病，小児肺移植